

令和7年度
吉野町まちづくりに関するアンケート
結果報告書

2025年7月

< 目次 >

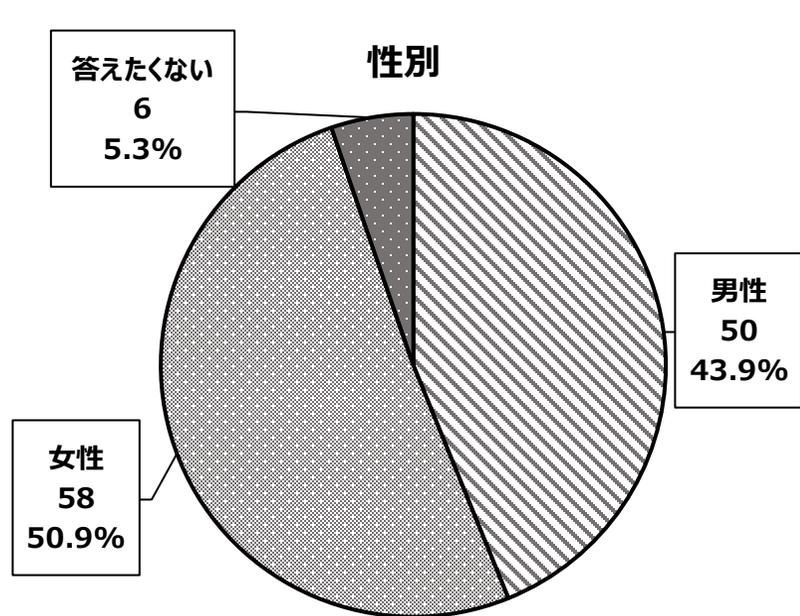
1.調査概要.....	2
2.回答者の属性.....	3
3.重点分野.....	5

1.調査概要

項目	内容
① 調査期間	● 令和7年6月3日（火）～6月16日（月）
② 調査対象	● 吉野町内・町外在住者
③ 調査方法	● 公式HPと公式LINEでアンケート回答を案内
④ 調査結果の活用	● 第5次吉野町総合計画後期基本計画策定などの資料として活用
⑤ 留意点	● 調査結果は実数あるいは百分率で表示しています。 ● 百分率は、小数点第2位を四捨五入しているため、比率が100%と一致しない場合があります。

2.回答者の属性

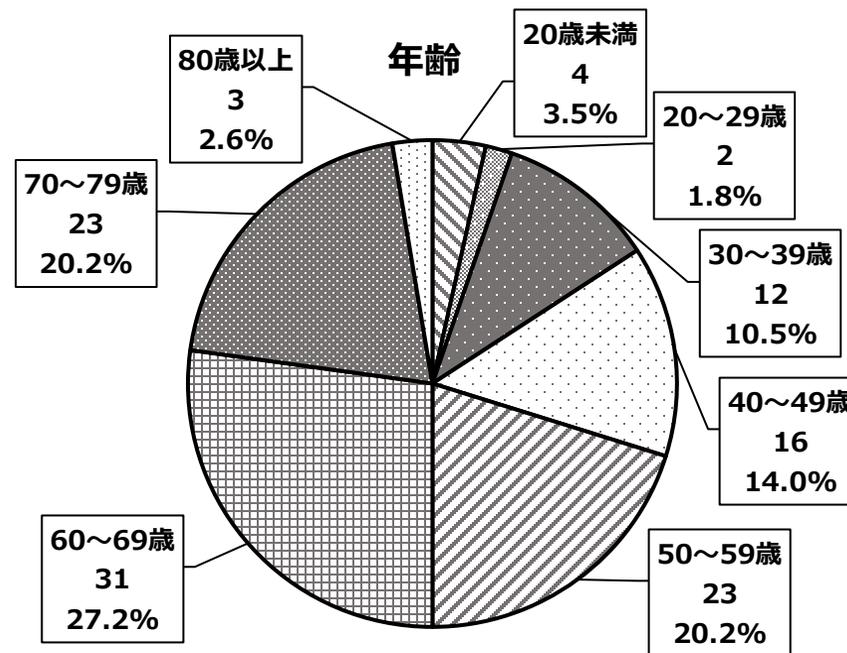
設問文：あなたの性別、年齢をお聞かせください。



n=114

性別の結果

- 回答者の性別は、「男性」が43.9%、「女性」が50.9%、「答えたくない」が5.3%となっており、女性の回答者の割合が最も高くなっています。



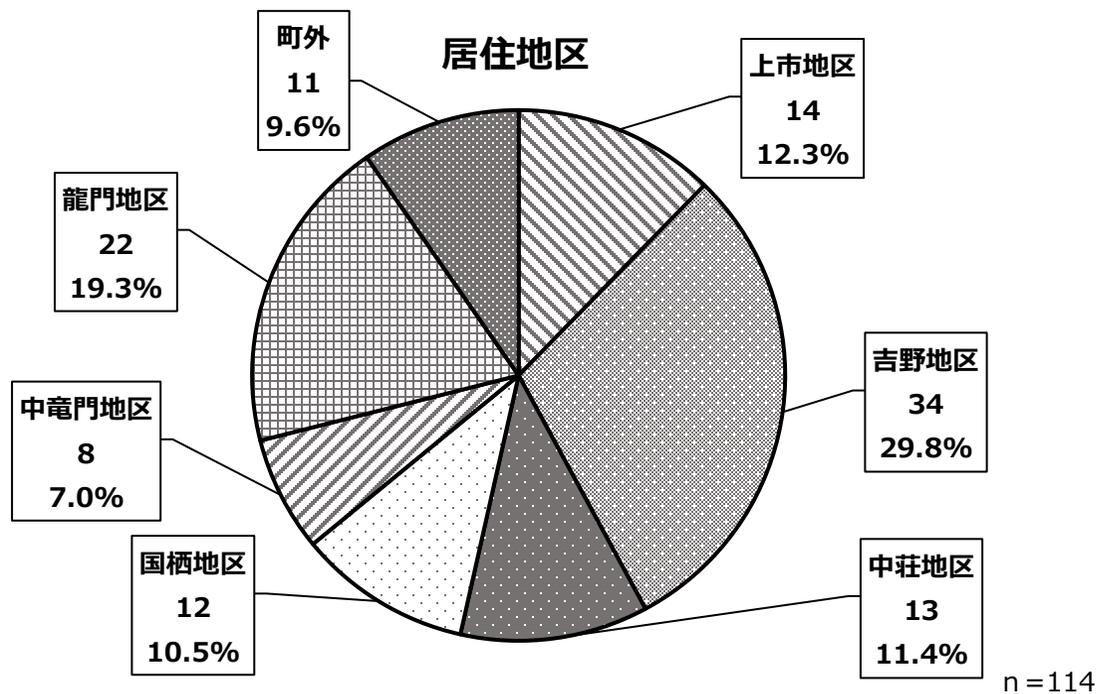
n=114

年齢の結果

- 回答者の年齢は、「60~69歳」が27.2%と最も割合が高く、次いで「50~59歳」と「70~79歳」がともに20.2%となっています。

2.回答者の属性

設問文：あなたのお住まいについてお聞かせください。



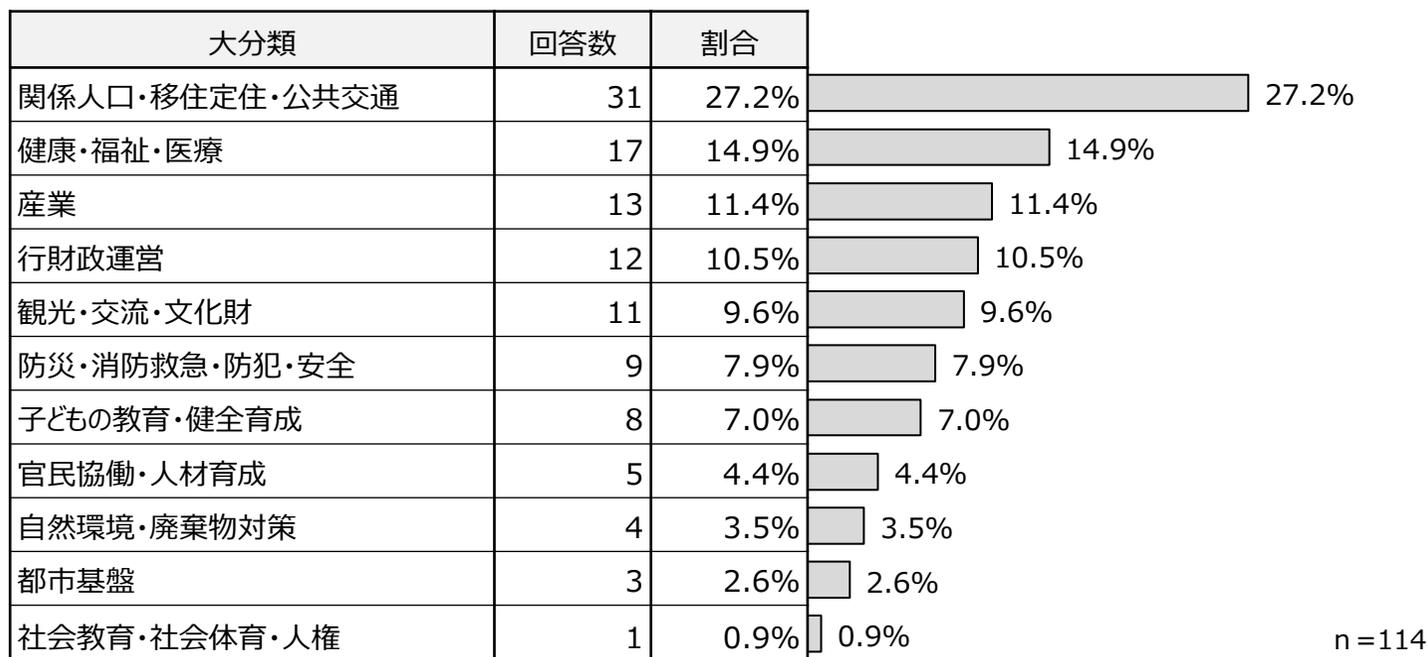
居住地区の結果

- 回答者の居住地区は、「吉野地区」が29.8%と最も割合が高く、次いで「龍門地区」の割合が19.3%、「上市地区」の割合が12.3%となっています。
- 「町外」の割合は9.6%となっており、各地区と町外から満遍なく回答を得られています。

3.重点分野

設問文：あなたが最も町が重点的に取り組むのがよいと思う分野をお聞かせください。

重点分野



重点的に取り組む分野の結果

- 「関係人口・移住定住・公共交通」が27.2%と最も多く、他の回答の2倍近い回答数となっています。次いで「健康・福祉・医療」が14.9%、「産業」が11.4%、「行財政運営」が10.5%となっています。

3.重点分野

設問文：前問でその分野を選んだ理由はなんですか。（一部意見抜粋、要約）

（1）関係人口・移住定住・公共交通（31件）

- 若い人が少なくなってきたから
- 住む家がない、空き家を活用すべき
- 高齢化で車移動ができなくなった人の移動手段が欲しいから
- 町から出た人が戻りたいと思えるような活性化が必要
- 住みやすい町という認識を広め、人口増加、活気につなげる

（2）健康・福祉・医療（17件）

- 地域医療の充実
- 老後が不安だから
- 高齢者の健康増進が重要
- 安心できて住みやすいまちづくりをしてほしいから

（3）産業（13件）

- 働く場所が少なく、人口流出が改善しないから
- 産業の発展は人口増加や環境改善につながるから
- 農業などの後継者問題、農産物を販売する場所

（4）行財政運営（12件）

- 吉野町の未来が不安だから
- 町民の声が反映されるような施策を考えるべき
- 合理化、効率化を進めて持続可能性の議論が必要

（5）観光・交流・文化財（11件）

- 桜の時期以外でも観光できる場所が必要
- 吉野町のアイデンティティの確立のため
- 看板や案内板が少なく、観光しやすい環境の整備が必要

（6）防災・消防救急・防犯・安全（9件）

- 防災意識が低いと感じるから
- 災害に対して地域みんなで助け合っていかなければならないから

（7）子どもの教育・健全育成（8件）

- 子どもたちが安全に遊べる場所が欲しい
- 魅力的な子育て政策は移住定住につながるから

（8）官民協働・人材育成（5件）

- 未来に託すことだから

（9）自然環境・廃棄物対策（4件）

- 美しい自然が観光につながらず、自然災害もあり得るため

（10）都市基盤（3件）

- 土地の利活用を再検討

（11）社会教育・社会体育・人権（1件）

- ひとづくりが基盤となると思うから